

## 令和5年度岩手県立水沢高等学校第3回学校運営協議会会議要旨

日時 2月19日(月) 14:00～15:00

会場 水沢高等学校 大会議室

### 【開会】

#### 【校長あいさつ】

学校の現状を報告します。校地内の環境整備として、第一体育館の大規模改修工事、ボイラーの煙突工事、生徒用トイレの改修等を行いました。学校行事は、2学年の修学旅行が3泊4日で大阪・京都方面に行ってきたのですが、全員シングルルーム・3宿分宿の新しい形式でした。その他、進路講演会、理数科の研究発表会・出前授業等予定どおり実施した。進路関係では3年生の総合型選抜・学校推薦型選抜の結果も出て、国公立大学には51名が合格した。一方、今週末には国公立大学前期の二次試験を控え、一般入試も大詰めとなっている。高校の一般入試は調整前であるが本校への志願者数が232名(倍率1.08倍)で、中学生から変わらず人気を保っているが、来年度は中学生が激減するので魅力発信の仕方など考えていかなければならない。

#### 【協議】議長は東会長

##### ア 学校評価アンケートについて

(校長)

例年との比較だが、生徒はほぼ同じか若干下がっている。保護者はほぼ同じかやや上昇。教職員はほとんどが上昇し、ここ数年で最高である。自由記述は施設についての要望が多かった。具体的な改善のためにも、来年度は記名式を検討している。

(鈴木美喜子氏)

集計結果はフィードバックされているのか？

(校長)

学校のホームページに掲載している。

(鈴木美喜子氏)

生徒は肯定的な回答(1、2)が圧倒的に多い。

##### イ 働き方改革について

(校長)

時間外勤務が長くて校長面談対象の職員は4名いる。面談では体を壊さぬように年次休暇等の活用を促している。

(鈴木美喜子氏)

4名の方の超過勤務の要因は？

(校長)

3名は部活動指導で、1名は3学年担任としての生徒面談です。対象基準は月80時間以上です。

(鈴木美喜子氏)

部活動指導が要因ということで恒常的な要因でないことが救われる。

(校長)

部活動のオフシーズンには減少します。

(後藤康氏)

中学校での部活動の地域移行はなかなか進まない。月100時間以上の職員も1名いる。水沢高校は令和4年度に比べて今年度改善されているが、何かシステム面で改善点があるのか？

(副校長)

特に思い当たらない。

(後藤康氏)

業務のICT化は苦手な人もいるが、業務負担削減に繋がっているかもしれない。

(校長)

課題点検や実力テストの採点等業者に委託する部分もある。

(山下明氏)

保育園では集計上の残業時間は20時間程度で少ないが、目に見えない部分が多いと考えている。

(校長)

本校でも持ち帰り業務(教材研究)が多いと思う。探究の時間なども導入され職員の空き時間が少ない。

(東隆司氏)

勤務時間の把握方法は？

(校長)

タイムカードで把握している。

(東隆司氏)

教職員の志願者数が減っている。教職員の資質の担保が必要だ。

(校長)

特に小学校の志願者が少ないようだ。20・30歳代にバリバリ働いていた人が新しい現場に対応できなくなり50歳代で退職する方も増えているようだ。

(東隆司氏)

定年延長の影響はありますか？

(校長)

本校には対象者が9名いる。学校の中心的存在で、できれば来年度も本校に残ってほしいと思っている人が多い。

ウ 令和6年度の委員について

(校長)

紙面のとおり提案します。

全会一致で了承。

【その他】

(東隆司氏)

今年度トイレ改修工事があったとのことだが、来年度はどうか？

(事務長)

来年度は1階男子トイレから順次改修予定である。県教委にも直接要望等があるようなので、学校の現状を認識していると考えている。

(東隆司氏)

更衣室の要望もあるようだが。

(事務長)

本校には空き教室がないので困っている。

(山下明氏)

授業参観で1年生の授業を見学した。教室内から参観を促す声をいただいて感激した。ペアワークやグループワークなど形態は様々であったが全てのクラスが活気のある授業であった。

(進路指導主事)

総合型選抜や学校推薦型選抜の割合が増え、「年内入試」という言葉がしきりに使われるようになった。今後も続くと思われる。総合型選抜や学校推薦型選抜は小論文や教科の学力が問われる。従って、一般入試同様に校内の評定や模試の成績を考慮して受験校選択のアドバイスを行っている。

(副校長)

まだ、発言いただけていない委員から御意見を伺いたい。

(廣野基宣氏)

探究活動の支援を来年度も継続して行いたい。

(佐々木敏紀氏)

中学生の生徒数減の対策が必要ではないか。

(浅間光将氏)

学校への欠席連絡にマチコミを利用するのも1つの方法である。

(校長)

県から自転車のヘルメット着用の義務化を明文化するようにとの文書が発出された。学

校と一般のルールに差をつけたくないという思いもあり、今後検討する予定としている。

(山下明氏)

市内の中学生は3年間ヘルメット着用義務の中で生活してきた。このまま、義務化しても良いのではないか。

(佐々木敏紀氏)

生徒の本音は「被りたくない」ではないか。むしろ、一時停止を徹底した方が良いと思う。

(校長)

ルール作りについては生徒会とも相談して検討したい。

(東隆司氏)

リモート授業を行っているのか？

(校長)

行っている。ただ、不登校生徒対策で行っているのではない。

**【閉会】**